HOSEI 2022 NOVEMBER DECEMBER

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

キャリアセンターから会員の皆さまへ

就職・キャリア支援の現状

法政大学キャリアセンター事務部長
藤野 吉成

ウィズコロナが浸透する中、採用・就職活動において企業も学生の皆さんも、新しい変化にしっかり対応している状況です。今後の採用活動は、基本的にリモートを中心として対面を加える形で定着しそうです。キャリアセンターでも、さまざまなサービスの特色を生かしながら、オンラインや動画、対面を取り混ぜて対応しております。

本学学生の内定保有率は、10月1日時点のアンケート調査によれば全体で88・6％、文系が89・0％、理系が86・0％で、マスコミなどで発表されている調査結果と同程度の水準となっています。

就職活動継続中の4年生には、全員にアンケートや電話調査を実施しております。未内定者の把握後、希望者一人ひとりに就職支援を実施し、内定獲得を目指してまいります。キャリアセンターの相談は不要という場合も、時間を置いて再度連絡を取り、個別相談に導いております。

就職でいちばん大事なのは、絶対に就職するという強い意思です。周りを気にし過ぎて、早期に就職を諦めることがないように、本人やご家族が、他人と比較しないことも大切です。チャンスはまだまだあります。まだキャリアセンターを利用していないお子さまには、利用を促していただければと思います。

2023年度の就活生となる3年生には、個別相談での対応はもちろん、3キャンパスの就職支援担当が力を合わせて、特に企業人事との接触機会を提供するイベント（インターンシップ体験会、社員座談会）を多数企画しております。大手企業就職に必要な適性試験の対策講座にも力を入れております。また、3年生から個別相談を利用している学生を分析したところ、10回前後の利用者に、希望する就職先の内定を得た人が多いという結果が出ています。

低学年のキャリア支援では、過度に就職活動を意識するのではなく、大学生活で一生懸命に取り組めるものを見つけてもらうことが重要です。そのためにここ数年、1年生のキャリア教育や低学年支援イベントの充実化を図ってまいりました。公務員講座や難関資格講座も充実させ、成果が上がっています。

ぜひ、お子さまにキャリアセンターを利用いただき、実りある学生生活を送っていただけるよう願っております。

キャリアセンターウェブサイト
キャリア支援に関する情報や、保護者の皆さまから多くいただく質問と回答などを掲載しています

首都圏父母懇談会

3キャンパスでハイブリッド形式の首都圏父母懇談会を開催しました（p23〜25にレポートを掲載）。

市ケ谷キャンパス　2022年10月 2日（日）
多摩キャンパス　2022年10月15日（土）
小金井キャンパス　2022年10月 9日（日）

首都圏支部からのレポート

首都圏父母懇談会 市ケ谷キャンパス

首都圏父母懇談会実行委員長 市ケ谷キャンパス
浅見 佐亨（那南／文学部）

澄み渡る秋空の下、2022年度市ケ谷キャンパスの首都圏父母懇談会を10月2日（日）にハイブリッド形式で開催しました。2020年度は中止、2021年度はオンライン開催で、人数制限はあるものの、キャンパスでの開催は3年ぶりでした。

キャンパス来場者460人、オンライン参加者301人、後援会役員も合わせると約800人が総長講演、学部別懇談会、キャリアセンター講話に耳を傾けました。

学生ボランティアによるキャンパスツアーには270人が参加し、大学の歴史と精神を継承する校舎や広場などを案内してもらいました。ツアー中の学生の巧みな話術を耳にして、「楽しそうですね。まだ申し込めますか」と飛び入り参加も出るほど大好評でした。学部や校舎の居心地、アルバイト、就職活動などについて、学生からじかに話が聞けたのも魅力だったようです。

久しぶりの対面開催で、当初は後援会役員同士のコミュニケーションにぎこちない部分もありましたが、同じ目標に向かって力を合わせるうちに、学年を越えた一体感が生まれたように感じています。来年度は入場制限をなくし、学生サークルの企画や食堂での試食会も復活させたいと思いは膨らみます。役員や関係者の知恵を出し合えば、できることは無限にあると実感しました。

ご参加いただいた保護者の皆さま、総長、学部長をはじめご指導ご協力いただいた大学関係者の皆さま、後援会の事務局、役員関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

受付の様子

キャンパスツアーの学生ボランティアと

※（　）内は子どもの名前／学部

首都圏支部からのレポート

首都圏父母懇談会 小金井キャンパス

首都圏父母懇談会実行委員長 小金井キャンパス
石原 康弘（弘裕／理工学部）

10月9日（日）、小金井キャンパスで首都圏父母懇談会を開催しました。今回は、午前の部に理工学部、午後の部に情報科学部と生命科学部の2部構成で、対面・オンラインのハイブリッド方式としました。オンラインについては、全国の会員の皆さまにもご視聴いただけるように計画し、約200人に対面形式で、約240人にオンライン形式でご参加いただきました。

講演会では、まず金井敦副学長よりごあいさついただいた後、キャリアセンター小金井事務課の佐藤拓哉主任から「理系学部生の進学・就職と法政大学キャリアセンターの取り組み」についてお話しいただきました。

その後、学部・学科（専修）別に行われた説明会では、担当教授などから学科の紹介、履修状況、成績評価、大学院への進学や就職状況、最新の研究などについて貴重なお話をいただき、また質疑に対しても丁寧に応答していただきました。

説明会終了後には、学内の実験室や研究室など、普段はなかなか立ち入ることのできない、学びの場所をご案内いただきました。保護者の皆さまが、熱心に傾聴し、興味深く見学される様子が印象的でした。

後援会の実行委員と後援会事務局担当職員が、感染対策に最大限配慮しつつ、できるだけ多くの保護者の皆さまにご参加いただけるよう、開催方法について6月から検討を重ねてまいりました。来年度以降、さらに工夫をしていきたいと思います。

最後になりましたが、ご来場およびオンラインでご参加いただきました保護者の皆さま、ご指導ご協力いただきました大学関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。

父母懇談会の実行委員

講演の一部はオンラインで視聴可能に（写真は金井敦副学長）

法政大学後援会事務局

〒102-0073
東京都千代田区九段北 3-2-3　法政大学九段校舎 4F
TEL：03-3264-9350
FAX：03-3264-9367
E-mail：koenkai@hosei.ac.jp

後援会ウェブサイト
https://www.hosei-koenkai.org/

首都圏支部からのレポート

首都圏父母懇談会 多摩キャンパス

法政大学後援会 副会長
松﨑 浩司（涼司／スポーツ健康学部）

10月15日（土）に多摩キャンパスにて首都圏父母懇談会を開催しました。今回は、2021年度と同様に、事前申し込みによる対面参加とオンライン参加によるハイブリッド形式となりました。また、これまでは首都圏在住の保護者のみを対象としていましたが、今年度からは全国の保護者にもオンラインを通じてご参加いただけるようになりました。

学部別懇談会では、各学部の担当教員から学部教育や在学生の学生生活の様子、就職活動に関する講話がありました。キャリアセンター職員による就職活動に関する説明では、就職活動の現状や就職活動へのアドバイスに関するお話が聞けました。どちらも熱心にメモを取る保護者の姿が印象的でした。

また、学生スタッフのアテンドによる、キャンパスのウォークツアーも実施しました。校内循環バスの中では、同乗した学生スタッフによるガイドがあり、図書館や総合体育館では、職員の方から施設の説明がありました。さらに、当日は大学祭（多摩祭）が開催されており、学生たちの元気な姿を目にすることもできました。

「父母懇談会」は、後援会活動の大きな目的の一つである、保護者が教育環境や学校生活を知ることのできる貴重な機会です。今回も多くの方々にご協力をいただき、無事に終えることができました。

来場された保護者の皆さま、さらにはオンラインで参加された皆さま、そしてご指導ご協力いただきました後援会事務局の皆さまをはじめ、大学関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

受付の感染対策

ウォークツアーの様子